

大腸癌に対する mFOLFOX6+Panitumumab療法

(レボホリナート+オキサリプラチン+フルオロウラシル+ベクティビックス)

DRPHW_DRPHW_1

2008年10月10日 承認

Dr.sign

Ns.sign

Ph.sign

病棟・科名	登録番号 《SYPID》	氏名 《ORIBP_KANJI》様	年齢 《SYAGE》	身長 cm	体重 kg	体表面積 m ²
疾患名	施行予定日 月 日 ~ ()	コース目	実施サイクル コース予定	【調製指示】 <input type="checkbox"/> 調製可 <input type="checkbox"/> TEL連絡後調製		
備考[標準投与量逸脱など]				放射線併用 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無		

Day1 (/)

《治療当日・治療前》

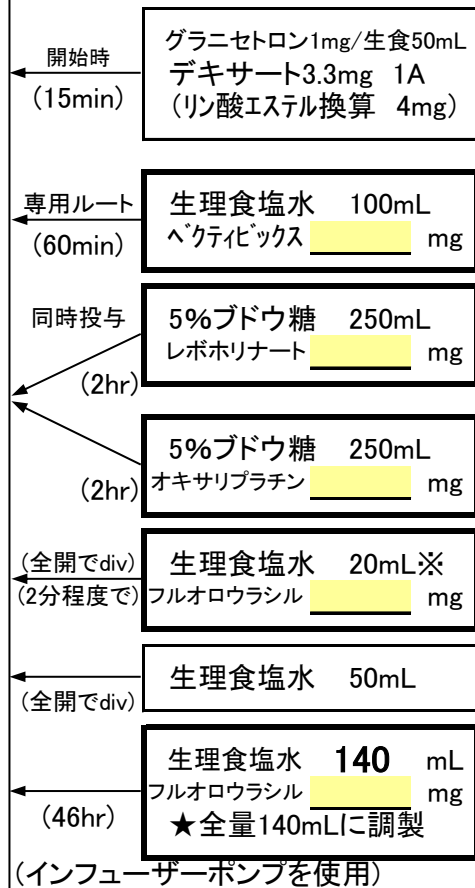
アプレピタントカプセル125mg 1回 1Cを
治療開始前に服用

本管(中心静脈ポート)

生理食塩水 100mL

ルート確保後、主管は止めること

側管



※50mLの容器から
30mLを破棄

終了後に自己抜針

(初回は本人及び家族に指導し、
自己抜針してもらう)

Day2 (/) ~ Day3 (/)

《治療翌日朝より2日間服用》

デカドロン錠 1回 4錠を
1日2回(朝昼食後)服用

アプレピタントカプセル80mg 1回 1Cを
午前中(朝食後)に服用

mFOLFOX6+Panitumumab療法

標準投与量:

Pmab	6 mg/kg	day1
I-LV	200 mg/m ²	day1
L-OHP	85 mg/m ²	day1
5-FU	400 mg/m ²	(bolus)
5-FU	2,400 mg/m ²	(46hr持続)

2週毎